

前金	部分払い
<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	0回

平成30年度下施汚が補第1号
極楽橋ポンプ場(ポンプ棟)耐震補強工事

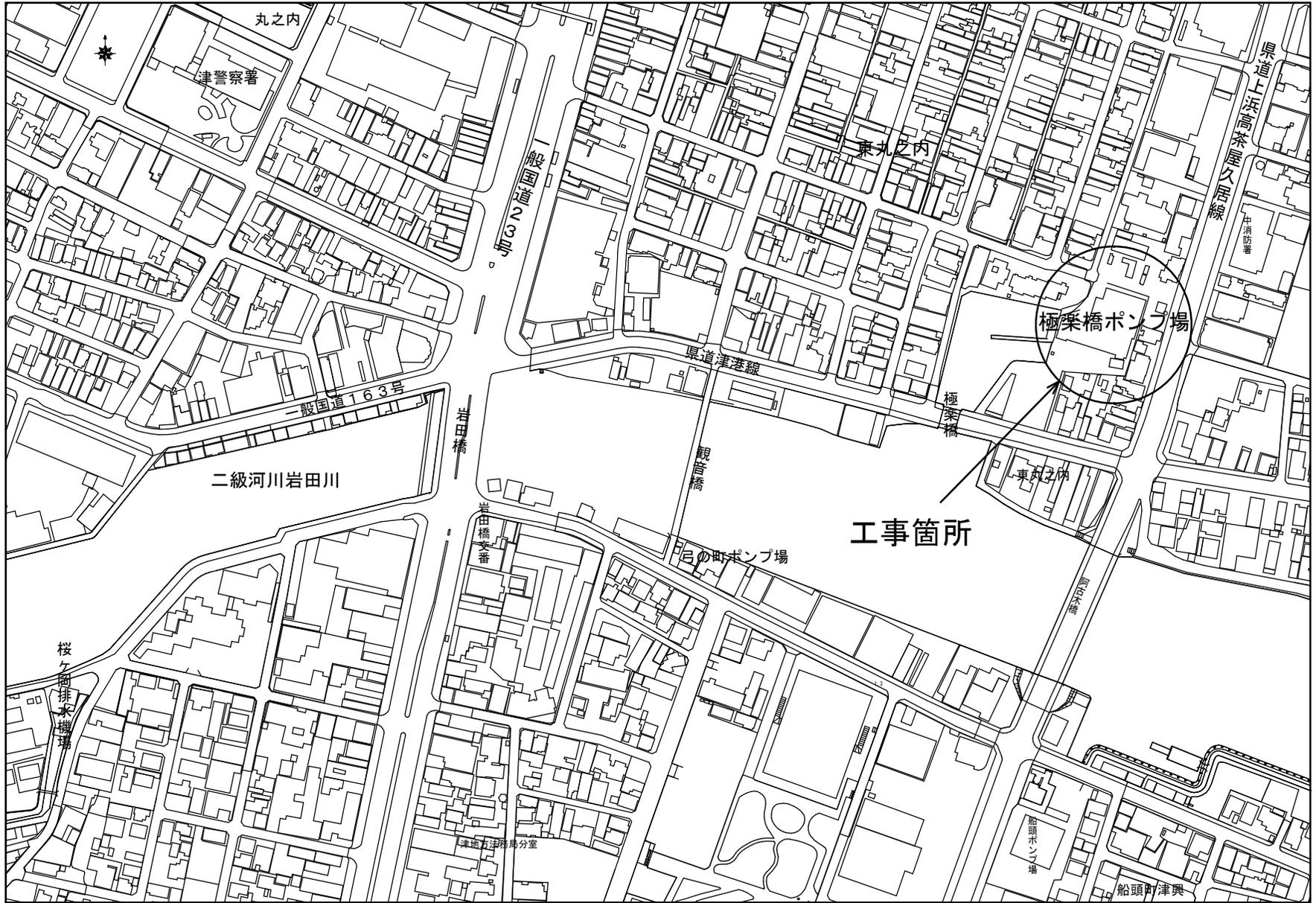
設 計 書

津市下水道局
下水道施設課

平成30年度	下施汚ポ補第1号	工事設計書	
施工場所	津市 東丸之内 地内	局長	
		局次長	
工事名	極楽橋ポンプ場（ポンプ棟）耐震補強工事	課長	
		検算者	
設計金額	¥ — (内消費税等相当額 円)	調整・担当主幹	
		担当副主幹	
工期	平成31年2月28日限り	主査	
		担当	
工事の大要		設計者	
<p>耐震補強</p> <p>ポンプ棟上屋 建物延べ面積 470.7㎡ 鉄筋コンクリート造 地上2階建 ※上記に係る耐震補強工事 一式</p>			

位置図

平成30年度下施汚水補第1号
極楽橋ポンプ場（ポンプ棟）耐震補強工事



記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	平成30年度下施汚ポ第1号 極楽橋ポンプ場（ポンプ棟）耐震補強工事						
	<工事価格>						
(I)	ポンプ棟耐震補強工事		1.	式			
	工事価格						
	消費税相当額						
	工事費						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(I)	ポンプ棟						
	<直接工事費>						
(1)	建築工事		1.	式			
(2)	建築機械設備工事		1.	式			
(3)	建築電気設備工事		1.	式			
	直接工事費 計						
	<共通費>						
(4)	共通仮設費		1.	式			
(5)	現場管理費		1.	式			
(6)	一般管理費		1.	式			
	共通費 計						
	工事価格						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設						
	墨出し(内部改修)	複合改修	66.2	m2			
	墨出し(外壁改修)		77.4	m2			
	養生(内部改修)	複合改修	133.	m2			
	養生(外壁改修)		61.8	m2			
	整理清掃 後片付け(内部改修)	複合改修	133.	m2			
	整理清掃 後片付け(外壁改修)		61.8	m2			
	外部足場 枠組本足場(手すり先行方式)	12m未満 建枠900×1700 布枠500+240 安全手すり(手すり先行方式) 及び登り栈橋含む	1.	式			

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	災害防止	防音シート張り	274.	m2			
	小幡ネット		27.7	m			
	内部仕上足場 (改修)	階高7.4m以上9.1m未満 運搬費含む 枠組棚足場 安全手すり含む	1.	式			
	内部仕上足場 (改修)	階高10.8m以上12.5m未満 運搬費含む 枠組棚足場	1.	式			
	内部仕上足場 (改修)	階高10.0m未満 運搬費含む 単管本足場 単管本足場 安全手すり含む	1.	式			
	仮設間仕切り B種	軽鉄下地 せっこうボード張り 片面 運搬費,撤去費含む	38.8	m2			
	仮設間仕切り C種	単管下地 ビニールシート間仕切り 運搬費,撤去費含む	31.5	m2			
	小 計						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	外壁改修工事						
	2-1 撤去						
	面台モルタル撤去	コンクリートブレイカ 集積共	7.5	m2			
	カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm程度	22.8	m			
	既存塗膜の除去(リシ)	既存モルタル面 サンダー工法	8.8	m2			
	2-2 改修						
	壁モルタル塗り	刷毛引き 外壁 厚25	72.2	m2			
	面台防水モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	5.2	m2			
	外装薄塗材E	モルタル面 砂壁状 吹付 下地調整共	72.2	m2			
	外装薄塗材E	既存モルタル面 砂壁状 吹付 下地調整共	8.8	m2			
	シーリング	打継目地 ポリウレタン系(PU-2) 15×10	79.3	m			
	シーリング	壁モルタル目地 ポリウレタン系(PU-2) 10×10	79.3	m			
	小 計						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	建具改修						
	3-1 撤去						
	鋼製建具撤去	900×2000 片開き 枠共 集積共	1.	ヶ所			
	鋼製建具撤去	3650×1525 アルミ窓 枠共 集積共	5.	ヶ所			
	鋼製建具撤去	3650×550 アルミ窓 枠共 集積共	5.	ヶ所			
	鋼製建具撤去	450×1900 アルミ窓 枠共 集積共	2.	ヶ所			
	鋼製建具撤去	900×2000 片開き 枠共 集積共	1.	ヶ所			
	木製建具撤去	2100×1800 襖 枠共 集積共	1.	ヶ所			
	木製建具撤去	600×1800 片開き 枠共 集積共	1.	ヶ所			
	ガラス撤去	集積共	28.7	m2			
	建具周囲はつり		120.	m			
	シーリング撤去	集積共	105.	m			

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	3-2 改修						
	(アルミニウム製建具)						
	AW-2 すべり出し窓	L=450 H=900 額縁共	1.	ヶ所			
	(鋼製建具)						
	SD-5 片開きフラッシュドア	L=900 H=2000	1.	ヶ所			
	(ガラス)						
	フロント板ガラス	厚5 2.18㎡以下 シーリング, 清掃共	0.4	m2			
	(その他)						
	シーリング	建具枠周囲 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	8.5	m			
	建具周囲防水モルタル充填	外部建具	8.5	m			
	DP塗り	鋼製建具面 工程B種 塗料1種	5.2	m2			
	小 計						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	内装改修						
	4-1 撤去						
	床モルタル撤去	集積共	9.5	m2			
	床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	3.	m2			
	床人造石撤去	集積共	0.9	m2			
	カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	33.9	m			
	カッター入れ	タイル面 厚さ20～30mm	12.9	m			
	既存防水層撤去	屋内防水層 アスファルト防水層 集積共	5.9	m2			
	床防水下地モルタル撤去	集積共	3.	m2			
	立上りラスモルタル撤去	集積共	2.9	m2			
	床アスタイル撤去	集積共	1.9	m2			
	階段アスタイル撤去	集積共	0.6	m2			
	階段モルタル撤去	集積共	0.6	m2			
	床組撤去	転ばし 合板共 集積共	8.9	m2			
	押入れ床組撤去	転ばし 合板共 集積共	2.4	m2			
	押入れ棚組撤去	合板共 集積共	2.4	m2			

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	畳撤去	集積共	6.	枚			
	幅木モルタル撤去	集積共	14.9	m			
	幅木アスタイル撤去	集積共	0.9	m			
	壁CB撤去	集積共	5.	m3			
	壁モルタル撤去	集積共	34.7	m2			
	壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	19.2	m2			
	カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	45.9	m			
	カッター入れ	タイル面 厚さ20～30mm	9.7	m			
	壁木毛セメント板撤去	集積共	27.2	m2			
	壁合板底目地撤去	集積共	1.3	m2			
	壁下地撤去	木胴縁 集積共	1.3	m2			
	天井ロックウール吸音板撤去	二重張り 集積共	2.9	m2			
	天井石綿板撤去	一重張り 集積共	1.2	m2			
	天井合板撤去	一重張り 集積共	7.1	m2			
	天井下地撤去	木下地 集積共	11.2	m2			

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	4-2 改修						
	(床)						
	砂利地業	土間下 切込碎石	0.3	m3			
	普通コンクリート	Fc18N/mm2 SL18cm	1.8	m3			
	コンクリート打設手間	嵩上げコンクリート ホンヅ 打設 50m3/回未満	1.8	m3			
	コンクリートホンヅ 圧送	30m3以上50m3/回未満 S15~18 圧送費、基本料金共	1.	回			
	床人造石張り	厚さ30	0.9	m2			
	床モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	0.4	m2			
	床モルタル塗り	金ごて 張物下地 厚28	10.1	m2			
	床モルタル塗り	金ごて 塗仕上下地 厚30	5.3	m2			
	階段モルタル塗り	金ごて 張物下地 厚28	1.5	m2			
	床ビニル床タイル	コンポジションビニル 厚さ2.0	2.0	m2			

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	階段ビニル床タイル	コンポジションビニル 厚さ2.0	1.5	m2			
	床ビニル床シート	厚さ2.0	8.1	m2			
	床用塗料塗り	エポキシ樹脂塗床材 薄膜流し展べ	5.3	m2			
	(幅木・壁)						
	幅木モルタル塗り	金ごて 高さ100	15.7	m			
	ビニル幅木	高さ100	10.	m			
	シーリング	一般部 壁目地 ポリウレタン系(PU-2) 10×10	144.	m			
	壁合板底目地張り		0.8	m2			
	壁下地	木胴縁	0.8	m2			
	壁モルタル塗り	金ごて 厚20	14.9	m2			
	壁欠き込みモルタル充填	幅100 厚さ50	18.3	m			

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	耐震改修						
	6-1 撤去						
	外壁コンクリート撤去	コンクリートブレイカ 集積共	10.7	m3			
	カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm程度	111.	m			
	床コンクリート撤去	コンクリートブレイカ 集積共 無筋コン	2.6	m3			
	床コンクリート撤去	コンクリートブレイカ 集積共	0.5	m3			
	床コンクリート撤去	階段溝研り コンクリートブレイカ 集積共	11.9	m			
	壁コンクリート撤去	コンクリートブレイカ 集積共	0.1	m3			
	カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm程度	29.1	m			
	土間下砂利地業撤去	砕石	0.4	m3			

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	6-2 改修						
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D10	0.04	t			
	異形鉄筋	SD295A D13	3.7	t			
	異形鉄筋	SD295A D16	0.2	t			
	異形鉄筋	SD345 D19	0.3	t			
	鉄筋加工組立	工場加工 耐震改修用	4.	t			
	鉄筋運搬費	4t車 30km程度	4.	t			
	割裂補強筋 スパイラル鉄筋	鉄筋径φ6 スパイラル径φ75 ピッチ50mm 壁厚150mm	18.4	m			
	割裂補強筋 スパイラル鉄筋	鉄筋径φ6 スパイラル径φ120 ピッチ50mm 壁厚200mm	159.	m			
	割裂補強筋 スパイラル鉄筋	鉄筋径φ6 スパイラル径φ200 ピッチ50mm 壁厚300mm	12.9	m			
	後施工アンカー(接着系アンカー)	シアコネクター 横向き D10	143.	本			
		有効埋め込み長さ7d 有効定着長さ110mm					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナット付 樹脂アンカー 下向き D16	25.	本			
		有効埋め込み長さ120mm 有効定着長さ20d					

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナット付 樹脂アンカー 横向き D16	42.	本			
		有効埋め込み長さ120mm 有効定着長さ20d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナット付 樹脂アンカー 上向き D16	25.	本			
		有効埋め込み長さ120mm 有効定着長さ20d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナットなし 樹脂アンカー 下向き D16	2.	本			
		有効埋め込み長さ160mm 有効定着長さ45d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナットなし 樹脂アンカー 横向き D16	3.	本			
		有効埋め込み長さ160mm 有効定着長さ45d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナットなし 樹脂アンカー 上向き D16	3.	本			
		有効埋め込み長さ160mm 有効定着長さ45d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナット付 樹脂アンカー 下向き D19	118.	本			
		有効埋め込み長さ140mm 有効定着長さ20d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナット付 樹脂アンカー 横向き D19	140.	本			
		有効埋め込み長さ140mm 有効定着長さ20d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナット付 樹脂アンカー 上向き D19	129.	本			
		有効埋め込み長さ140mm 有効定着長さ20d					

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナットなし 樹脂アンカー 下向き D19	2.	本			
		有効埋め込み長さ190mm 有効定着長さ45d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナットなし 樹脂アンカー 横向き D19	2.	本			
		有効埋め込み長さ190mm 有効定着長さ45d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナットなし 樹脂アンカー 上向き D19	4.	本			
		有効埋め込み長さ190mm 有効定着長さ45d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナット付 樹脂アンカー 下向き D22	162.	本			
		有効埋め込み長さ160mm 有効定着長さ20d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナット付 樹脂アンカー 横向き D22	295.	本			
		有効埋め込み長さ160mm 有効定着長さ20d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナット付 樹脂アンカー 上向き D22	159.	本			
		有効埋め込み長さ160mm 有効定着長さ20d					
	後施工アンカー(接着系アンカー)	アンカー筋ナットなし 樹脂アンカー 下向き D22	6.	本			
		有効埋め込み長さ220mm 有効定着長さ45d					

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	Fc21N/mm ² SL18cm	35.4	m ³			
	構造体強度補正	3N	35.4	m ³			
	コンクリート打設手間	躯体 ポンプ 打設 50m ³ /回未満	35.4	m ³			
	コンクリートポンプ 圧送	30m ³ 以上50m ³ /回未満 S15~18 圧送費及び基本料金共	3.	回			
	無収縮モルタル注入	FC=30N以上 材工共	2.3	m ³			
	目荒し	コンクリート面 床	11.	m ²			
	目荒し	コンクリート面 壁	83.6	m ²			
	目荒し	コンクリート面 天井	11.4	m ²			

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(型枠)						
	普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部 標準階高	128.	m2			
	打放合板型枠 B種	耐震改修用 地上軸部 標準階高	169.	m2			
	型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	297.	m2			
	注入用型枠	片面木製 H=200	14.5	m			
	注入用型枠	両面木製 H=200	42.4	m			
	型枠目地棒	打継目地 15×15程度	79.3	m			
	型枠目地棒	壁目地 15×15程度	144.	m			
	打ち放し面補修	B種コン処理 部分目違いばらい	169.	m2			
	打ち放し面補修 圧入用型枠面	B種コン処理 部分目違いばらい	11.	m2			
	小 計						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	発生材処理						
	発生材積み	コンクリート類 人力	22.1	m3			
	発生材積み	内装材類 人力	1.4	m3			
	発生材積み	持ち出し手間 コンクリート類 人力	22.1	m3			
	発生材積み	持ち出し手間 内装材類 人力	1.4	m3			
	発生材運搬	ダンプトラック 2t積 バックホ0.13m3	22.1	m3			
		コンクリート類 DID区間有り 11.0km以下					
	発生材運搬	ダンプトラック 2t積 バックホ0.13m3	0.8	m3			
		木材類 DID区間有り 11.0km以下					
	発生材運搬	ダンプトラック 2t積 バックホ0.13m3	0.6	m3			
		せっこうボード類 DID区間有り 11.0km以下					

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材処分	13.9m3 比重2.35t/m3 コンクリート 無筋	32.7	t			
	発生材処分	モルタル	15.8	t			
	発生材処分	ガラス・陶磁器類	0.33	t			
	発生材処分	廃プラスチック	0.02	t			
	発生材処分	建設発生木材	0.4	t			
	発生材処分	せっこうボード	0.08	t			
	発生材処分	畳屑	0.02	t			
	発生材処分	混合廃棄物（浴槽, 便器等）	0.03	t			
	発生材処分	防水アスファルト	0.04	t			
	金属屑処分	鉄筋屑	0.8	t		▲	
	金属屑処分	鉄屑	0.1	t		▲	
	金属屑処分	アルミ屑	193.9	kg		▲	
	小 計						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	撤去工事						
	撤去労務費		1.	式			
	廃棄物運搬	2t積トラック	1.	台			
	冷媒フロン回収 冷:2.2KW		1.	台			
	プラグ止め VP65A		1.	箇所			
	枠組本足場	建枠 900×1700、12m未満	35.	m2架			
	手すり		7.	m			
	枠組棚足場	階高 4.0m以上、5.0m未満	11.	m2床			
	手すり		14.	m			
	小 計						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	廃棄物処分						
	廃棄物処分	金属類	0.04	ton			
	廃棄物処分	保温材	0.002	ton			
	廃棄物処分	樹脂類	0.02	ton			
	廃棄物処分	陶器類	0.002	ton			
	小 計						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備	(電灯分岐設備)					
	EM-IE 電線	2.0 管内	14.	m			
	ねじなし電線管	E19 露出	5.	m			
	LSS1-1550LM-2		1.	個			
	FCL40-1灯	埋込型(取外し・再取付)	1.	個			
	FL40-2灯	反射笠付(取外し・再取付)	1.	個			
	露出スイッチボックス	1個用 金属製	1.	個			
	アウトレットボックス	中四角浅型 D44	1.	個			
	撤去工事	電灯分岐設備	1.	式			
	小計						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯設備	(コンセント分岐設備)					
	EM-IE 電線	1.6 管内	1.	m			
	埋込コンセント	2P15A×1 新金プレート	2.	個			
	埋込コンセント	2P15A×2 新金プレート	1.	個			
	埋込コンセント	2P15A×2 (取外し・再取付)	1.	個			
	塗代カバー継棒		2.	個			
	スイッチボックス	1個用	3.	個			
	露出スイッチボックス	1個用	1.	個			
	丸型露出ボックス	一方出 E19	1.	個			
	撤去工事	コンセント分岐設備	1.	式			
	小計						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	火災報知設備						
	HIV電線	1.2 管内	8.	m			
	ねじなし電線管	E19 露出	4.	m			
	差動式スポット型熱感知器	2種 (取外し・再取付)	1.	個			
	アウトレットボックス	中四角浅型 D44	1.	個			
	撤去工事	火災報知設備	1.	式			
	小計						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	別紙明細(1)	電灯分岐設備 撤去工事	1.	式			
	IV電線 (撤去)	2.0 管内 再使用しない	23.	m			
	ねじなし電線管 (撤去)	E19 インパイ 再使用しない	12.	m			
	FL20-1灯 (撤去)	ブラケット 再使用しない	1.	個			
	IL60-1灯 (撤去)	レセプタクル 再使用しない	1.	個			
	埋込スイッチ(撤去)	1P15A×1 再使用しない	2.	個			
	小計						

記号	名 称	規 格、形 状、寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)	共通仮設費						
	共通仮設費	率算出					
	交通誘導員			人			
(5)	現場管理費						
	共通仮設費	率算出					
(6)	一般管理費等						
	共通仮設費	率算出					
	(4)の計						

特記仕様書

【部分下請負通知書に関する事項】

受注者は、工事の一部分について下請負させる場合は、部分下請負通知書を監督員に提出すること。なお、下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付すること。

【現場の管理】

受注者は、監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、氏名、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させること。

なお、作業者についても受注者名が分かるよう配慮すること。

<名札の一例>

写 真 2cm×3cm 程度	主任・監督技術者
	氏 名 ○○ ○○
	工事名 ○○○○○工事
	工 期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日
	会 社 ○○株式会社 印

【安全対策に関する事項】

工事期間中の運搬車両及び重機等による騒音振動等については、周辺地域に及ぼす影響を最小限に食い止めると共に安全対策を講じること。また、施工に伴う公衆災害及び労働災害の防止に努めること。なお、大型車両が出入りするとき、または、工事関係車両の出入りが頻繁になるときは、誘導員を配置して事故防止に努めること。

注1) 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注2) 所属会社の社印とする。

【前払い金に関する事項】

請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めたときは、請負代金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いをするものとする。

【三重県産業廃棄物税に関する事項】

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払い請求を行うこと。なお、この期間を越えて請求することはできない。また、設計数量を越えて請求することはできない。

【施工体制台帳等】

受注者は、工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請負金額にかかわらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出すること。

【工事实績情報の登録に関する事項】

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

また、（一財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が土曜日、日曜日、祝日等を除き10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

【完成報告書】

工事完成報告書の提出部数は3部とする。

【木材の調達目標】

本工事における木材の使用に当たっては、原則として地域産材（注1）を優先し、調達できない場合は県産材（注2）を使用するものとする。

なお、県産材については「三重の木」認証材を優先して使用するものとする。

注1 「地域産材」とは、津市内の森林から産出された木材で製材業者、津地区木材協同組合、津西部木材流通協同組合及び美杉木材協同組合の産地証明のあるものをいう。

また、集成材にあっても、構成する材は「地域産材」を優先使用したものであることとする。

注2 「県産材」とは、三重県内の森林から産出された木材とし、「三重の木」とは、三重県産の丸太を使用し、一定の基準の適合することを「三重の木」利用推進協議会により認証された木材製品をいう。

津市公契約条例に関する特記仕様書

1 趣旨

この特記仕様は、本市が締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図ることに関し、必要な事項を定めるものとする。

2 用語

この特記仕様における用語は、津市公契約条例（津市条例第22号）（以下「条例」という。）において使用する用語の例による。

3 受注者等の責務

- (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。
- (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。
- (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。
- (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。
- (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。
- (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。

4 公契約の解除等

市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。

- (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。
- (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。
- (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。
- (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。
- (5) 特定公契約にあっては、別紙誓約事項に違反したとき。

労働環境の確保に係る誓約事項

津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。

また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。

記

- 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。
- 2 関係法令に違反し、関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。
- 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。
- 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出（以下「違反申出」という。）をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。
- 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。
- 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。
- 7 市長等が行う施策に協力すること。

暴力団等の不当介入の排除等に関する特記仕様書

1 趣旨

この特記仕様は、本市が締結する契約等からの暴力団、暴力団関係者、暴力団関係法人等（以下「暴力団等」という。）の不当介入を排除し、契約等の適正な履行を確保することに関し、必要な事項を定めるものとする。

2 用語

この特記仕様における用語は、津市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成27年津市訓第76号）において使用する用語の例による。

3 受注者等の義務

- (1) 本市の契約等の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。
- (2) 受注者等は、暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。
- (3) 受注者等は、暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。
- (4) 受注者は、本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに本市に文書にて報告するとともに所轄の警察署に通報し捜査上必要な協力をするものとする。この場合において、捜査上必要な協力を行ったとき、受注者は速やかに本市に文書にてその内容を報告しなければならない。

なお、受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等の措置が必要となったとき、受注者は本市に契約期間の延長等を求めることができる。

4 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置

入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札参加資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準（平成21年4月8日施行）に基づく指名停止措置を講じるものとする。

また、上記3の義務に違反した受注者等に対しても、同様に指名停止措置を講じるものとする。

5 契約等の解除

上記の暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。

配慮依頼事項

受注者においては、この契約を履行するにあたって、下記のことについて御配慮いただくようお願いいたします。

なお、当該配慮依頼事項は、発注者である津市が受注者の自由な協力をお願いするものであり、受注者が津市のお願いに応じなかった場合に、受注者に対して、不利益を課すものではありません。

記

- 1 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者を含む。）が認められた契約にあつては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮してください。
- 2 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することについても配慮してください。
- 3 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮してください。
- 4 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用することに配慮してください。